

No.10 生涯学習の推進〈生涯学習〉 （人権・社会教育課）

令和5年度までにめざす姿

生涯学習のある町づくりを進め、豊かな学びを通してまち（地域）を支える人材の育成に努めます。

令和3年度にめざした成果

社会教育・生涯学習を推進し、地域の課題に気づき、主体的に行動できる人材を育成します。

- ①社会教育：各年代に応じ、地域課題・生活課題の解決につながる講座等を実施します。
…（目標）町民向け講座参加者500人
- ②生涯学習：住民の生涯学習成果をまち（地域）のために生かすことで得られるやりがい・生きがいの創出をねらいに、成果発表の場の充実を図ります。
…（目標）成果発表機会参加者800人

令和3年度にめざした活動

- ①町民向け講座を40講座（年間）実施します。
- ②成果発表機会を12回（年間）実施します。

令和3年度の成果

- ①②小学生～高齢者まで各世代対象の講座を35回実施し、のべ392人が参加されました。
また、作品展などの町民の成果発表機会を9回実施し、800人以上の参加がありました。
- ①公民館主催の女性学級では、普段の生活では得ることのできない気付きを得られ「学びがい」がある場として参加者から評価をいただいております。参加者アンケートでは「これからも学び続けたい」という意見が多数を占めています。

令和3年度の問題

- ①②コロナの影響を受け中止になった講座・イベントがあり、ウィズコロナに対応した町民参画のあり方を引き続き考えていく必要があります。
- ①限られた職員・予算で質の良い学びをより多くの町民に提供するためには、主催講座全体の見直しが必要です。これまでに得られた学びの場のノウハウを継承しながら、時代に即した形に変化させていくことが必要です。

令和4年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①②社会のニーズ並びに住民の生活に直結する課題を捉え、それらの課題の解決につながる事業を展開します。また、連続講座等で継続した学びを図るとともに、住民同士のつながりを創出します。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①より多くの町民が参加できるよう講座全体の再構築を図り、全世代に届く情報発信を行います。
- ②ウィズコロナに対応した手法（参加者を分ける、オンラインの活用等）により町民参画の機会を創出します。

(3) 新たに取り組む方策

- ①②将来的に地域のために活躍できる大人への育成をねらいに、地域を離れる15歳までの子どもたちを対象とした地域の中での分厚い体験・学びの場を創出します。このことに加え、他課や他機関と目標（目指す子どもの姿）及び目的を共有し地域全体で子どもたちを育成する仕組みの構築を図ります。

No.11 生涯学習の推進〈図書館〉 （人権・社会教育課）

令和5年度までにめざす姿

生涯学習を支える拠点施設として、住民の求める知識や情報を迅速かつ的確に提供していく図書館をめざします。

令和3年度にめざした成果

- ・ 町民1人あたりの貸出冊数を年間10冊とします。
- ・ 利用者数を年間3万人とします。
- ・ レファレンス件数を各館年間200件とします。

令和3年度にめざした活動

- ・ ホームページやSNS等を通じた情報発信で図書館の周知を図ります。
- ・ イベント等を通じて図書館利用へのきっかけをつくります。
- ・ 図書館運営協議会を通じて町民の意見を図書館運営に反映します。
- ・ 図書館ボランティアの立ち上げ等町民が図書館活用に参加する仕組みづくりに取り組みます。

令和3年度の成果

法勝寺図書館がリニューアルオープンし、来館者、新規登録者（2月末1,049人）が増えています。町民1人当たりの貸出冊数は、2月末時点で12.2冊、利用者数は、36,696人（町内24,149人）、レファレンス件数は各館ともに200件を超えています。居心地のよい空間の提供、開館時間の延長、祝日開館の実施等が成果へつながっていると考えます。

令和3年度の問題

来館が困難な方に対する継続的な取り組みが必要です。住民のより身近な場所への配本や返却ポストの設置等に取り組んでいますが、まだ不十分です。他機関との連携など、利用に向けた対応を検討していく必要があります。

令和4年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

複合施設という環境を活用し、他課と連携した事業等の取り組みをすることによって、今まで利用したことがない方へも来館のきっかけをつくります。

(2) 解決すべき問題への方策

来館が困難となる原因を検証し、新たな方策を考える必要があります。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して事業を推進します。

(3) 新たに取組む方策

多くの方に利用していただける施設を目指し、図書館運営協議会の皆さんの意見を運営に反映していきます。図書館のSNSにつながっていただくためのスマートフォン活用講座など、暮らしに役立つ図書館となるための実践的な事業を展開します。住民の皆さんが図書館活動に参加できるよう図書館ボランティアなどの仕組み作りに取り組んでいきます。